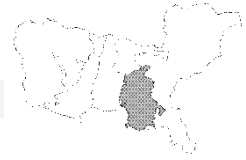


(5) 中部南地域



地域の 将来像

恵み豊かな自然の保全と、田園文化を活かした交流のまち

主な特性 猿ヶ石川中流域の緩やかな丘陵地や盆地に拓かれた地域

土地利用

◇活力ある生産環境と快適な農村空間の創出、総合サービス拠点の再生

- 本地域の農地は、食糧生産や環境保全、防災などの観点から保全を図ります。
- 土沢周辺については、総合サービス拠点として、行政・商業・業務・文化・福祉などの都市機能の充実とともに、利用しやすい環境を整備し、賑わいのある拠点の形成を図ります。
- 総合サービス拠点への居住者転入を促進するため、上町共同化優良建築物等整備事業による住宅供給や、東和小学校の整備などの環境整備を進めます。

交通

◇交流と生活の基盤となる道路交通網の整備

- 東北横断自動車道、国道 283 号、国道 456 号、主要地方道北上東和線、主要地方道盛岡大迫東和線など、広域交通ネットワークを支える道路網の改良整備を働きかけます。

緑地

◇丘陵地の緑の保全

- 総合サービス拠点の憩いの場として、和田公園、舘山公園の適正な維持管理や、里山の緑地など田園空間における緑地の保全・育成を図ります。

定住環境

◇水質を守る生活環境づくり

- 公共下水道や農業集落排水の利用を促進するとともに、浄化槽整備事業により生活排水の適正処理に努めます。

景観

◇歴史と田園文化を継承する景観づくり

- 商店街については、住民主体の出会いと賑わいのある景観づくりを図ります。
- 丘陵地の農地と森林の景観を保全し、歴史と田園文化を継承する景観づくりや舘山公園からの眺望景観の保全に努めるとともに、毘沙門堂周辺や丹内山神社及び旧小原家周辺などでは、歴史的・文化的景観の保全に努めます。
- 良好な河川空間の形成のため、猿ヶ石川沿いの景観の保全に努めます。

安全安心

◇安全な市街地の形成と、治水・治山対策の促進

- 河川災害を防止する治水対策の必要性から、猿ヶ石川や中小河川の河川整備に努めます。
- 急傾斜地崩壊危険箇所などでは、防災対策の促進を図ります。
- 防災面に配慮した土地利用を推進し、災害危険箇所のハザードマップを活用し、防災対策に努めます。

恵み豊かな自然の保全と、田園文化を活かした交流のまち

